

子育て×介護×海外勤務 培った経験を市政に。

いち き
市来 えみこ「誰もが安心して
暮らせる横浜」を実現へ

市政報告 No. 2

子連れでアメリカ大学院留学。米国パラリーガル・TESL取得。
元楽天グループ。ひとり親として子育てと仕事を両立。
法律・英語・教育に携わり、現場を知る議員として活動中。

🏆 主な成果

- ✓ 学びの3層空間（メタバース）拡充決定
- ✓ 社会参加ポイント全員無期限取得へ改善
- ✓ 日本語教育ライブ配信授業を開始予定
- ✓ 文化体験授業スタート

質問テーマ： ① グローバル教育 ② 日本語教育支援 ③ 文化施策 ④ フレイル対策 ⑤ おひとり様対策

⑥ 地域交通 ⑦ 消費者被害対策 ⑧ 防災・減災 ⑨ 地域防犯 ⑩ 受動喫煙対策

1 グローバル教育の推進
国際交流の拡充を

実現へ ✓

AET全校配置や「Yokohama English Quest」「はまっこ留学体験」など先進的な英語・国際教育を現場視察で確認。「国際平和プログラム」で子どもたちがニューヨークの国連本部で平和のメッセージを発信するなど横浜ならではの取り組みも進んでいます。

教育現場に、オンライン・メタバース（仮想空間：不登校の生徒などへの対応）を活用した国際交流の機会拡充を要望しました。

▶ 下田教育長の回答

「リアル+オンライン+メタバース」の学びの3層空間を活用し、国際交流の機会をさらに広げていく

R8 学びの3層空間を拡充予定

2 日本語教育の支援
ICT活用で支援拡大へ

実現へ ✓

日本語指導が必要な児童生徒はこの10年で約2.6倍に増加。視察を通じ、短期間で成長する子どもたちの姿と教員の熱意ある取り組みを確認。

施設不足により支援が届かないケースもあることから、ICTを活用した新たな支援の拡充を強く提案しました。



ICTとは、「Information and Communication Technology（情報通信技術）」の略です。

▶ 教育長の回答

オンラインやタブレットを活用し、誰一人取り残さない学びを推進する

R7 モデル配信 → R8ライブ配信による授業を開始予定

3 文化施策の充実
文化体験を横浜美術館で

実現へ ✓

文化芸術体験は子どもの創造力やコミュニケーション力を育む重要な機会。

私の提案（R5一般質問）を契機に、新たに「子どもの文化体験推進事業」が放課後キッズで開始され、特別支援教室等へ拡大したことは大きな前進です。

家庭環境による体験格差の解消と横浜美術館の資産活用による市民・来街者への発信強化を要望しました。



横浜美術館館長 蔵屋美香氏（左）と
市来えみこ議員

▶ 山中市長の回答

文化体験の機会を広げ、大きな国際会議後や横浜トリエンナーレでも美術館の活用も含め取り組みを進める

R8 横浜グリーンエキスポ開催中に子どもから大人まで楽しめる内容を展開予定

4 フレイル対策
高齢者全員に社会参加ポイントを

改善決定 ✓

高齢化が進む中、フレイル予防と社会参加の促進は重要な課題。新設の社会参加ポイント事業は期待大も、抽選方式では参加意欲につながりにくいという課題を現場の声として指摘しました。

参加者全員にメリットが行き渡る仕組みへの改善を強く要望しました。



▶ 市長の回答

参加者全員が特典を受けられる仕組みとなるよう検討し、制度の充実を図る

「フレイル」とは、年齢とともに心身の機能が低下して、健康な状態と要介護状態の中間にある状態のことを指します。

R7 申請者全員に無期限・上限5,000ポイントまで取得可能に



X(Twitter)



Instagram

いち き
市来 えみこ

市政報告 No. 2

「誰もが安心して
暮らせる横浜」を実現へ

主な成果

- ✓ みんなのおでかけ交通事業 31地区拡大 ✓ あんしん終活相談センター設置
✓ 防犯カメラ 180台→240台へ増設 ✓ トイレトレーラー全国最多7台所有へ

5 おひとり様対策
身寄りのない高齢者の相談窓口設置を

実現へ ✓

身寄りのない高齢者の増加に伴い、医療・介護・相談・葬儀への不安が深刻化。私のもとにも切実な相談が多く寄せられており、元気なうちから備えられる行政による包括的な相談窓口の必要性を強く訴えました。



相談窓口



▶ 市長の回答

国の動向も踏まえ、本市として具体的な支援策を検討

R7 「あんしん終活相談センター」設置

7 消費者被害対策
相談体制の強化と警察連携による詐欺防止

強化決定 ✓

SNS・インターネットを通じた詐欺被害は年々増加し手口も巧妙化。私のもとにも高齢者や若者など様々な世代の方から詐欺被害による相談がありました。



横浜市消費生活総合センター

相談体制の充実に加え、神奈川県警など関係機関と連携した未然防止の取り組み強化を要望しました。

▶ 市長の回答

相談機能の充実と啓発、関係機関との連携強化を進める

R8 地域防犯支援事業を倍増・宅配ボックス設置支援を新規実施予定

9 地域防犯対策
防犯灯・カメラの設置拡大を

拡充決定 ✓

「闇バイト」など強盗・詐欺被害が相次ぐ中、R6年10月青葉区でも痛ましい事件が発生。党としてR7年1月に市長へ「防犯対策強化に向けた緊急要望書」を提出。防犯灯・防犯カメラ拡大と公民連携を強く要望しました。

▶ 市長の回答

電柱タイプ防犯灯を年度内に整備。地域防犯カメラ設置補助。ハードとソフトの両輪で推進

R8 スマート防犯灯モデル事業開始・防犯カメラ180台→240台へ

6 地域交通の充実
行政主導の導入と運行経費支援を

拡大決定 ✓

交通空白地域の解消には行政の積極的な関与が不可欠。高齢化により地域主体の取り組みが難しい中、データを活用した対象地域の把握と採算が取りにくい路線への経費支援の必要性を訴えました。

▶ 市長の回答

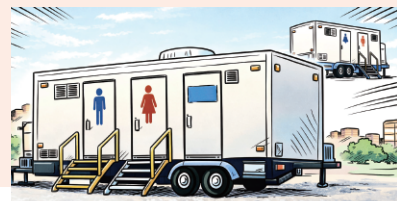
データに基づきプッシュ型支援を展開するとともに運行経費への補助を進める

R7 「みんなのおでかけ交通事業」開始 → R8は31地区導入予定

8 防災・減災対策
災害時トイレトレーラーの追加導入へ

導入決定 ✓

災害時のトイレ不足は避難生活の質に直結する重要課題。市民アンケートでも多くの不安の声が寄せられており、安心して避難生活を送れる環境整備としてトイレトレーラーの追加導入を提案しました。



▶ 市長の回答

トイレ対策の充実を図り、追加導入も含め検討

R8 5台購入予定 合計7台所有（全国最多）

10 受動喫煙対策
喫煙禁止地区の拡大と屋外対策強化へ

拡大決定 ✓

R7年4月から市内2,700か所余りの公園が全て禁煙化。一方で、人通りの多い駅周辺やバス停など屋外での受動喫煙対策も重要。市民の健康を守るため喫煙禁止地区のさらなる拡大を訴えました。



横浜駅周辺に完成予定の喫煙所イメージ画像

▶ 市長の回答

重点地域でのパトロールや啓発を強化し、喫煙禁止地区の指定拡大に向けて検討を進める

R7 パトロール・データ分析実施 → R8年 日吉駅が重点禁止指定都市として追加

